



中村進午文庫
文庫5
803



早稲田大学
図書館蔵書

おのり
おのり

風部 弥三 釋書 同 行 係 三 釋 書
おのり 風部 おのり 弥三 おのり 釋書 おのり 同 おのり 行 おのり 係 おのり 三 おのり 釋 おのり 書
 新 西 居 山 深 而 多 集 乃 弟 年 深
おのり 新 おのり 西 おのり 居 おのり 山 おのり 深 おのり 而 おのり 多 おのり 集 おのり 乃 おのり 弟 おのり 年 おのり 深
 之 清 山 室 乃 弟 身 年 長 紹 乃
おのり 之 おのり 清 おのり 山 おのり 室 おのり 乃 おのり 弟 おのり 身 おのり 年 おのり 長 おのり 紹 おのり 乃
 為 金 之 新 是 海 乃 弟 乃
おのり 為 おのり 金 おのり 之 おのり 新 おのり 是 おのり 海 おのり 乃 おのり 弟 おのり 乃
 用 炉 書 乃 古 瓶 之 口 乃 弟 乃
おのり 用 おのり 炉 おのり 書 おのり 乃 おのり 古 おのり 瓶 おのり 之 おのり 口 おのり 乃 おのり 弟 おのり 乃
 其 茶 之 友 乃 弟 乃 弟 乃 弟 乃
おのり 其 おのり 茶 おのり 之 おのり 友 おのり 乃 おのり 弟 おのり 乃 おのり 弟 おのり 乃 おのり 弟 おのり 乃

所屬 HBS
部門 IV
番號 340

文

所屬 州
部門 中村健文庫
番號 9517
小番

文庫 5
803

昭和三十三年十一月二十七日
法學部研究室より移管

昭和三十三年十一月二十七日
中村健氏 贈

○ひらけり

此の世も世なりて今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや

今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや

○ちりり

今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや
 今也えや今也えや今也えや今也えや

世

あつまつとんねんかゝりかゝりしほりねび かゝり

○あつまつ

あつまつあつまつしほりねび あつまつ あつまつ

あつまつあつまつしほりねび あつまつ あつまつ

あつまつしほりねび あつまつ あつまつ

あつまつしほりねび あつまつ あつまつ

あつまつしほりねび あつまつ あつまつ

あつまつしほりねび あつまつ あつまつ

よくはらぐ あつまつ あつまつ

よくはらぐ あつまつ あつまつ

よくはらぐ あつまつ あつまつ

よくはらぐ あつまつ あつまつ

よくはらぐ あつまつ あつまつ

よくはらぐ あつまつ あつまつ

よくはらぐ あつまつ あつまつ

よくはらぐ あつまつ あつまつ

あま ところからアッどよめたくへ **あま** ぞよのしん

○ ほろろ あま

こみ 柳のまきまき あま 錦きんとほろろくぐよりのあひ

あま イヤりあしうぐわなこのまき入るまぢあま

ちあひのまき入るまぢあましうらうちうら

かしくとまぬしと移るまぢあまか

移入るあまはもはぬてまぢあまあま

あまあまあまあまあまあまあまあま

とこ **あま** イヤアあまのあまのあまあま

中まのあまあまの中あまあまあまあま

あまあまあまあまあまあまあまあま

あまあまあまあまあまあまあまあま

あまあまあまあまあま **あま** あまあま

○ あま あま あまあま

あま アアアアアアアアアアアアアアアア

あま アアアアアアアアアアアアアアアア

まふむくし〜あいつらが来てあんなこと
 うれさうきとおひこぬりをしてるそ〜してやらん
 むよらりれちやアはま〜福入りのでんご
 晩ばんう〜と〜が西とぬりよまあるがらぬが嵐
 のらるまぶらひのな〜さはぶせてぬ〜の
 西への福む〜がま福入んおら〜があ
 とるまれ〜福とあ〜

○うんぬぐ
きううき

かんたんとさぶきとほれちゆ〜たふて
 そらうりよあひまをまぬ〜まやアで
 け〜ぬくかん女を実るぶい福入りコリヤ
 ちがなすちちまよちよ〜小使せうぞんとま
 しくおいて、使まとらうちさくをんはとん
 やのせ〜いしやんでものあま
 ところが〜ヤ〜あ〜い〜い〜い〜い
 まらぬまのち〜とままちぬれコレ

かろいゆもな〜
そまき イヤリよき
 ちうひきでいけやせん
そまき 十二うそははく
 ぬー^いまんどらりも女子まうぬかろ
 ちらふ又^い病人むろ^あおまごう^てをド
 まう移人のそまき 日んちも^ま直^まのさる
 人はまうぬやせぬそまき それでもこ〜
 出まうさるまよひとりもあそんで
 のハ移人そまき そまきごう中〜

くはれてまうけぬたをぬぐもいり移人
そまき とぬハ又なせ〜
そまき ハテ今〜
 へんるよ〜

○さぶぬ
 ちぬぐ

さぶ さぶぬのあしき〜
 しょうのま〜
 これハよろふぢな〜
 とぬれな〜

○ちりまるも
きりひのも

ちりまるも ちりまるもろくろくちりあ合さてく
りりもあつるやぐあだらそして子ども
ああぐくさんであううやあーい **さくらの**
イヤモウきどもがあくてうのさえむくうさ
あうーかひももぐまのく移や已まあの
ゆくふいろうがくろちらあ **あ**らこんど移
ぶるほのおさんまだがかーらりあるなと

りやぐろまるうろをぐまろく移をぬま
ぬーあんぞらいろ **あ**たこ 田カぶくこさんまや
むさあひどもはかあらぐろまるから
あーららとら **ちりまるも** ちりよく人と
あげ 揚 ちりまるの

○あねくま
あねき
水

狸 ちりつごころしてはひのめはしりや
いねまある仲の志由あんなあーい

とねびくのめねナントはあひいまひがさーや
とよびはやらうぶやア福入あひうこいうね
よかろふとよびはあねげ福入のさーや
三みせんたんとりてせて身アうたあは
志あれのりーやうてちうあひあはせ
けぬげはるーやのねこちあひるんていんく
ひあいとぬとてびあひやせうあひこまぢる
目ろもちがあひていんよあひちんーやらあ

ころをそよとあひうて



○あひう
むい

女はれの志あひんれさうくやまーしうらな
こへこあひのことうあひてらあひのあ
まうとあひて川の申あひたまひあぐう
魁くわいとよんであひアあひあひんあひいんあひ
まんざうーやア福入あひあひんあひいんあひ
かんあひうーとてあひいんあひいんあひ

いんげんあしひく **せん** **て** **あ** **り** **よ** **う** **ま** **り**
はな **ま** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま**

○ **て** **あ** **げ** **よ**
あしひく

あ **げ** **よ** **一** **本** **即** **朱** **の** **こ** **と** **ろ** **へ** **ま** **り** **ぞ** **う** **ぞ**

今ううあしひくはゆくがう移へ **て** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま**

おそく出け **て** **あ** **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま**

どう **て** **あ** **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま**

その一本のところへ **あ** **ら** **じ** **ん** **ま** **の** **こ** **と** **ろ** **へ** **ま** **り** **ぞ** **う** **ぞ**

あ **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま** **の** **こ** **と** **ろ** **へ** **ま** **り** **ぞ** **う** **ぞ**
あ **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま**

○ **あ** **げ** **よ**
あしひく

がうう **あ** **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま**

あ **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま** **の** **こ** **と** **ろ** **へ** **ま** **り** **ぞ** **う** **ぞ**

うん **あ** **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま** **の** **こ** **と** **ろ** **へ** **ま** **り** **ぞ** **う** **ぞ**

て **あ** **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま** **の** **こ** **と** **ろ** **へ** **ま** **り** **ぞ** **う** **ぞ**

ま **あ** **げ** **よ** **一** **本** **あ** **ら** **じ** **ん** **ま** **の** **こ** **と** **ろ** **へ** **ま** **り** **ぞ** **う** **ぞ**

島原の船屋入のうらふあつちのびよ
むとやア梅くうらふを **あ** それもさうさ
がゆふまにほくまのうせあしど

○火つた

火入をつてぐかんぐふふ陸子むどら
か身づんぬ **せ** とんどこふがらふね
づうまをどくくもさるゆかぬ **火** 入と
アやアアがわくきどふまを **で** ぶく

あつちのうらふ **せ** とんどこふがらふね
づうまをどくくもさるゆかぬ **火** 入と
アやアアがわくきどふまを **で** ぶく

○火つた

あつちのうらふ **せ** とんどこふがらふね
づうまをどくくもさるゆかぬ **火** 入と
アやアアがわくきどふまを **で** ぶく
あつちのうらふ **せ** とんどこふがらふね
づうまをどくくもさるゆかぬ **火** 入と
アやアアがわくきどふまを **で** ぶく

○きりこま
きりこま

すりこまのふせうまのゆいこまに
よまじよせりさるるまじよのふせうま
らうとあふがゆんどうどううかめかみ代
よつとちてくれろくらんがまじうして年
神のまじつみんとやまじまじりふゆも
いこまじよのまじ山椒まじのまじこま年路
のまじまじ後すよまじよまじりよまじそれの

ひらうのまじよまじ今一かうた
まじよまじよまじまじ又まじのまじ入ぬ
けとぬ

○さくら
さくら

かたけま山吹のま今まさうりこまま
ましてあれがまじまじりよまじりよかま
んあのみまを一ぬくんかまんとま山吹まあ
やうにりよまじ一ぬくやれがぬくと

あつ竹のあやあやとワアアアと人々に
さびさびとてちやんのかさおのれと
くどれられバ見むろろしくあぢんさんあ
おやあぢんとりりまあぢんさんあ
ぐりぐりくまさんま

○あぢんさん
あぢんさん

あぢんさんあぢんさんあぢんさん
あぢんさんあぢんさんあぢんさん
あぢんさんあぢんさんあぢんさん

らもあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

○あつと
あつと

あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと
あつとあつとあつとあつと

夕べしらぶらとてうらちんがきさてんや吉象
くざうくろくろふらぬくつらうらふ又丁町
のふらちしてき丁もゆらうのふらやうとら
てことふらうて ふらそれからかうらうらタアけを
いつもつうれきふらうら

○ ふら
ねんぐら

十六七のむらうらうらうらと 猫ア...むらうら
ふらうらうらうらうらうらうらうらうらうらうら

ふらあふらうらうらうらうらうらうら ねん
あふらうらうらうらうら

○ ふら
ふらうら

ふらうらうらうらうらうらうらうらうら 子は
ふらうらうらうらうらうらうらうらうら
ふらうらうらうらうら ふら
ふらうらうらうらうら 子は
ふらうらうらうらうら 子は
ふらうらうらうらうら 子は

かゝるものから

○ とうりから
きやー

[す]から ちやしさんかまにふかふかうまれつれ
 できして人とさくらんやんをさくらん
 めてしやーしやらうしやうまれあさ
 ねぞらう [ま]それのちやうまれあさ
 けふにやうさう後うまれつれあさ
 [う]から ちやうまれあさ [ま]それのちやうまれあさ

